

## 平成24年度第1回（第6回）花見川地区学校適正配置地元代表協議会議事要旨

1 日時 平成24年6月20日（水） 18時30分～20時30分

2 場所 花見川公民館 1階大会議室

### 3 出席

(1) 委員 18人

※欠席委員 5人（金井委員、境委員、井元委員、埴委員、熊谷委員）

※代理出席 1人（鈴木賢一郎氏：境委員代理）

(2) 事務局 企画課高須課長、池田主幹、国方補佐、小口主査、山崎主査補、安井主査補

(3) 傍聴者 17人

### 4 資料

(1) 平成24年度花見川地区地元代表協議会委員名簿

(2) 資料1：地元代表協議会における協議の概要

(3) 資料2：平成24年度に算出した推計による花見川地区の小・中学校の状況

(4) 資料3：話し合いの進め方について

(5) 資料4：花見川地区の小中学校の通学区域

(6) 資料5：花見川地区の小中学校の校舎等の状況

### 5 概要

(1) 本年度の委員およびホームページへの掲載について了承された。

(2) 資料1をもとに昨年度までの協議の概要を確認した後、資料2で24年度に算出した児童生徒推計による小・中学校の状況について、事務局が説明した。

(3) 資料3・4・5を事務局が説明した後、「統合の時期」「統合の場所」について協議した。その結果、「第一小と第二小、第一中と第二中の組み合わせで、小・中学校ともに平成27年4月に統合すること」を原案として、各団体に持ち帰って統合場所も含めて意見集約し、それに基づいて次回協議会で協議することが確認された。

(4) 次回協議会は、8月22日（水）18時30分から花見川公民館大会議室で開催することとした。

### 6 会長挨拶

原田会長：昨年度は「学校適正配置の必要性」について議論してきた。

その結果、適正配置の必要性があることを確認し、具体的には「花見川第一小と第二小」「花見川第一中と第二中」の組み合わせを協議していくことが合意された。

しかし、これは「吸収・合併」というスタイルではないことをご理解いただきたい。統合されて「新たな学校を作っていく」のであり、本日から具体的な内容の協議となる。

「子どもたちにとってより良い教育環境の整備」という視点で協議し、なるべく早く結論を出して、統合に向けた準備を十分に取っていきたいと考える。

## 7 報 告

### (1) 地元代表協議会における協議の概要について

事 務 局：資料 1 を説明

藤井議長：今の報告についてご質問・ご意見はあるか。

一 同：特になし

### (2) 平成 24 年度に算出した推計による花見川地区の小・中学校の状況について

事 務 局：資料 2 を説明

藤井議長：今の報告についてご質問・ご意見はあるか。

一 同：特になし

## 8 協 議

### (1) 花見川地区の学校適正配置の方向性について

事 務 局：資料 3 を説明後、「統合の時期」「統合の場所」および「統合の時期から協議して欲しい」旨について、以下の補足説明を行った。

#### ・統合の時期

- ①先に中学校が統合する。
- ②小・中学校が同時に統合する。
- ③小学校の統合の 1 年後に、中学校が統合する。
- ④小学校の統合の 8 年後に、中学校が統合する。

(小学校の統合時の小 2 が中 3 卒業後)

#### ・統合の場所

- ①小学校—第一小と第二小
- ②中学校—第一中と第二中

・小学校・中学校の統合の順番を含め、統合の時期について協議をしていただきたい。

その理由は、「統合の組み合わせがすでに決まっている。」「統合の時期により、今後の協議のスケジュールが決まる。」ためである。市として決定後、予算要望や統合に向けての準備等で、約 1 年半以上の期間が必要となり、仮に最短 2 年後の 26 年 4 月に統合をする場合は、今年の 9 月までに「統合に関する要望書」を教育長に提出していただく必要がある。そして、統合の時期を決めた後は、小学校と中学校の統合の場所について、具体的に協議していただくことになる。

藤井議長：事務局より詳細に説明があったが、はじめに「統合の時期」から協議していきたい。協議の順序は（統合は）「小学校が先」「小中同時」「中学校が先」という選択となる。小学校についてから先に協議してよろしいか。

佐藤委員：その前に 1 つ質問する。中学校のグラウンドについては、その大きさ（広さ）は問題ないのか。

藤井議長：質問が出たので、それでは資料4・5も先に説明してもらいたい。

事務局：資料4・5を説明

藤井議長：今の説明も踏まえて、統合の時期について検討いただきたい。

事務局からは「最短（最速）で平成26年4月」という話もあったが、ご意見をお願いしたい。

安恒副会長：先ほどの説明にあった「小学校統合の8年後に中学校を統合する」というのは現実的でなく、また「小学校統合の1年後に中学校を統合する」というのも避けた方がいいのではないか。「中学校が先」または「小中同時」が良いのではないか。前回協議会の時点では「第一中は早い方が良いとの意見があった、第二中はまだ意見が固まっていない」との状況であったと記憶している。この状況はどうなっているか。

藤井議長：それでは、各校での話し合いの様子について伝えていただきたい。

板谷委員：第一小学校では保護者に対して説明を行った。新1年生の保護者を含めて反対はなかった。統合となる際には通学路の安全確保・整備を進めて欲しいと思う。統合の時期は、協議会に委ねる。

川口委員：時期については、早くてもかまわない。いつ統合になるかを告知し、十分な交流期間がとれば良い。

藤井議長：「最短で平成26年4月統合」と言うことについてはいかがか。

坂本委員：「統合の順序を決めてから統合の時期なのか」「時期を決めてから順序を決めるのか」、混乱してきているのではないか。

藤井議長：まずは、一通り各校の話し合いについて伝えていただく。

事務局：委員一人ずつにご意見を聞かせていただきたい。

板谷委員：時期はできるだけ早い方がよい。小中同時が理想だろう。

茂木委員：小中同時が良い。

川口委員：子どもの負担やストレスが何度もかかるのはよくない。同時が良い。

鶴岡委員：小中同時であると通学の経路も一気に変わる。それは不安である。中学校が先の方が良い。

西田委員：第三小学校は中学校の統合を考える立場であるが、小中同時が良いのではないか。

伊藤委員：いずれでもいろいろ課題は出るだろう。中学校については、柏井小からの通学等を考えると、今以上に遠くなってしまうと危険も増えるだろう。一概に早い方が良いとは言い切れない。時期は「小中同時」または「中学校が先」が良いとは思いますが決めきれない。

渡辺委員：第二中PTA役員からは統合の時期についての意見は出ていない。

アンケートも回答数が少なく、意見集約に至っていないと言うのが昨年度までの状況であった。保護者は「中学校の統合はずっと先」と思っているようである。2年後（平成26年）に統合となると、子どもたちへの負担もあるかと思われる。現在の中学1年生が卒業してからの方が良いのではないか。

茂木委員：今は「統合の順序」を決めているのであって、「統合の時期」をいつにするかと言うことではない。

小石川委員：小中同時の方が良いだろう。時期は平成26年4月というのは早すぎるのではないか。拙速は避けるべきである。

黒田委員：事務局に尋ねるが、「学区の変更」は考えられるのか。

事務局：今の時点では、この協議会においては学区の変更という話が出ていない。  
仮に出てくればその時点で協議していくこととなる。

黒田委員：小中連携など、「新しい形」も考えていけるのか。

事務局：小中が近い場所となった場合には、そのような形も考えられる。

黒田委員：第一小と第二小については、統合の場所はいずれでも良いのか。

板谷委員：その通りである。

川口委員：第二小も同じである。

板谷委員：第一小は人数も少なく、今も行事では第二小と合同で取り組んでいるものもある。

黒田委員：中学校の保護者の意見がまだしっかり集約されていない状況であり、慎重に考えた方が良い。統合後の支援も重要な課題であろう。統合の時期だけに絞らず、総合的に話し合うべきだろう。

佐藤委員：資料5に通学距離が示されているが、もう少し詳細に示してもらえるとありがたい。時期については「3年後（平成27年）に小中同時」というのがいいのではないか。現在の中学校の保護者は関わらないと言われるが、小学校の保護者と十分に話し合っていくべきだろう。

黒田委員：母校がなくなるということは大きな問題である。今の中学校の保護者も全く関係ないと言うことでない。

佐藤委員：小学校の保護者に十分に話し合っ欲しい。繰り返しになるが、時期については「3年後（平成27年）に小中同時」というのがいいと考える。

早坂委員：保護者の声を大切にしたい。時間をかけて話し合っからの方が良い。「4～5年後に中学校を統合し、その後に小学校を統合する」のが良いのではないか。

坂本委員：保護者の意見は大事にすべきであろう。今の段階で、どちらが先というのは言えない。もっと保護者に意見をまとめてもらっから（協議する）の方が良い。

阿部委員：保護者の声を出してもらっ期間を取っの方が良い。中学校に関しては第三小も花島小も関わっくる。全小学校の保護者の問題となる。「（中学校統合は）小学校統合の8年後」というのが（考えられるケースとして）良いというのであれば、それでも良いのではないのかと思っしまう。（統合するという）方向性は決まっているのだから、もう少し慎重に話し合っの方が良い。保護者が何を望むのかも取り上げていきたい。今日は、こういう話が出たと言っことで持ち帰るということにしたらいかがか。

鈴木氏：（中学校に関しては）距離的には柏井小区にとってみてはかなりたいへんだろうと思っ。時期については特にコメントはない。

安恒副会長：ここであせる必要は無いが、「自分の子どもの時代でなければ良い」ということになっってしまうのはもっとも避けるべきだろう。これではこの協議会が空転し、ここでの話し合いが意味を持たなくなっってしまう。しっかりと意見集約をしていただくことが大切であろう。

黒田委員：時期はいつにしても連続してっるものであり、関わりのある問題である。

渡辺委員：何年後と区切った場合には、その時期の保護者が負担を負うことになるのではないか。できれば（自分たちの子どもの時ではなく）先にして欲しいと言うのが保護者の声ではないかと思う。何年後と言うのが明示されないとなかなか意見は出せないだろう。

安恒副会長：単にその時期の保護者だけと言うことでなく、学校を含む地域に関わる重要な問題として考えていく姿勢が大切であろう。そのような認識で動いていただきたい。

原田会長：様々意見が出されている。どこかで線引きはしないといけない。PTA関係にはもっと意見を集めるように努力していただきたい。先程、佐藤委員から「3年後」という意見が出されたが、平成26年4月統合ということになれば、スケジュールとしては今年9月までに要望書を取りまとめないとならない。現実的にそれは難しいだろう。

板谷委員：原点に立ち返れば「子どもたちの教育環境をすこしでも良くしていきたい」との視点で協議してきているのであるから、責任を持って「よい教育環境にしてあげる」ようにならないといけない。どこかで線引きはしないといけないが、「子どもたちの教育環境をすこしでも良くしていく」ことが第一である。

原田会長：今後の児童推計からすれば、あまり長い時間をかけるのもいかがかと思う。

坂本委員：PTAがしっかりと責任をもってやっていくという姿勢で結論を出してほしい。

藤井議長：第二中区でも報告会を持ち、声を拾っていききたい。

本日は意見を交換したと言うことで終了とし、各団体に持ち帰って次回継続協議とするということではいかがか。

原田会長：さまざまな意見があるが、平成27年4月（3年後）、小中同時に統合としたらどうか。

一 同：異議なし（了解）

安恒副会長：「3年後（平成27年4月）、小中同時に統合」を前提に各団体で話し合ってくることでいかがか。

一 同：異議なし（了解）

伊藤委員：「学区は変更なし」ということが前提となるのか。

安恒副会長：「変更なし」で話し合ってくることにしたい。また、場所について本日は協議に至っていない。「統合の場所」についても、メリット・デメリット等の意見を集約してきて欲しい。

一 同：了解した。

## （2）次回協議会について

事務局：今回は、平成24年8月22日（水）18時30分から、花見川公民館でいかがか。

一 同：異議なし（了解）

## 9 諸連絡

事務局：以下を連絡した。

- 1 議事要旨（案）の確認：返送期限に回答がない場合は「了承」とする。
- 2 委員名簿：議事要旨の確定後、教育委員会ホームページに掲載する。
- 3 欠席する場合：事務局へ電話をお願いしたい。代理を立てることも可能。
- 4 本日の協議結果：各委員が持ち帰り報告し、意見集約をお願いする。

各委員：連絡事項なし

## 10 閉会（原田会長挨拶）

各委員には、各団体・地域において今日の報告を行うとともに、しっかりと意見集約をしてきていただきたい。本日の熱心な協議に感謝する。